



編集作業の様子

活用場面

一斉学習
教員による教材の提示

個別学習
個に応じた学習
表現・制作

協働学習
発表や話し合い



生徒が提出したスライドの一部

活用した機器等

Chromebook
個人の携帯端末等

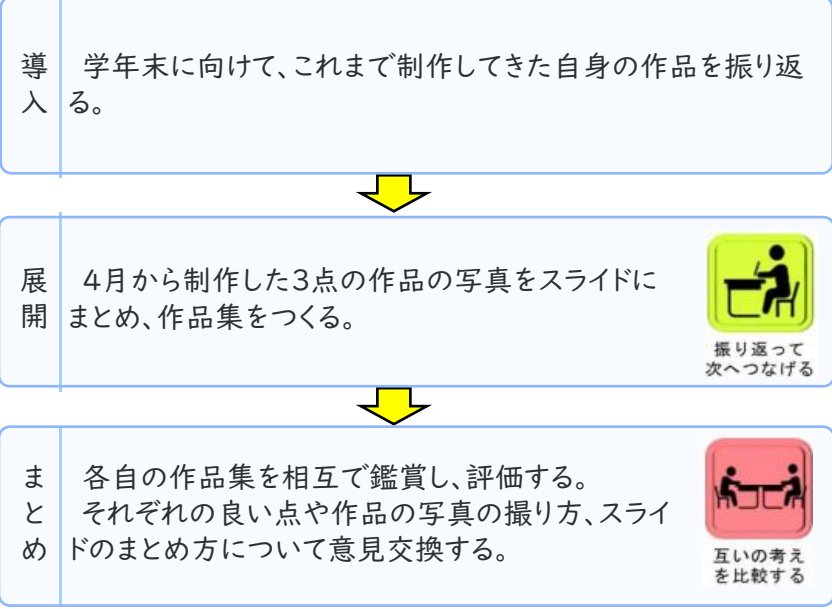
活用したアプリ等

Googleスライド
Google classroom

学習のねらい

年間のまとめにおいて、記録していた自身の作品の写真をもとに作品集を作成し、自身の制作の成果を振り返って何を学び、何ができるようになったかを確認し、相互鑑賞を通して作品のよさや美しさなどを伝え合い、次の学習に生かせるようにする。

学習の流れ



ここでICTを活用！

完成した作品の提出の際は、必ず撮影してGoogle classroomに提出させるようにし、写真を保管しておくことで学年末に作品集を制作し、自身の作品を振り返り、相互鑑賞できるようにした。
また、絵画の制作の際には1時間ごとの作業の結果を写真撮影しておき、収集した写真をスライドで重ねてパラパラ漫画のように連続的に見られるようにし、制作の過程の振り返りに生かす材料とした。

活用のメリット、実践の課題・振り返り等

作品集をスライドで作成するため、題材ごとに写真を提出する際にもスライドに貼りつけて提出させると年度末の作成手順が簡略化される。
スライドを活用することで簡単に作品集を作ることができ、自身や他者の学びや制作の過程を視覚的に振り返ることが可能となった。
題材ごとの制作過程の振り返りとして使用する場合は、授業時間の終わりにその都度撮影し、写真をつなげるとパラパラ漫画のような仕上がりになることを意識して撮影するように指示した。しかし、撮影した写真の中の作品のサイズが安定しない場合があり、その場合は、写真を一枚ずつトリミングすることになるため、実際の編集作業に時間がかかった。そのため、作品の撮り方の段階で、より丁寧な指示をすることで各自、満足のいく仕上がりになるのではないかと思う。